

2015.11.14(土)

日本海新聞

記念品を交換し互いに交流を深める松田会長(右)と季会長



記念品を交換 和やかに交流

県中部医師会と韓国・原州市医師会鳥取県中部医師会(松田隆会長)と韓国・原州市医師会(李煥南会長)との親善交流会が6日夜、倉吉市山根の倉吉シティホテルで開かれた。交流会はSUN-IN未来ウォークと原州国際ウォーク

SUN-IN未来ウォークが縁で交流が始まりました。

キング大会の交流の中から始まり、今回で5回目となる。

昨年9月には、原州市で友好医師会協定書が交わされており、原州市医師会の来倉は3

回目となる。中部医師会からは9人、原州市医師会からは7人が出席した。

交流会では、松田会長が「相互理解の中から交流の輪が広がり、

両医師会の発展につながる。今後とも交流が続くことを期待したい」と歓迎の言葉を述べた。両国の記念品交換も行われ、和やかに交流を深めた。

韓国側のメンバーは7日には、倉吉市内の赤瓦や白壁土蔵群、鳥取砂丘・砂の美術館を見学し、解禁されたカニの料理を堪能し帰国した。